

視覚に障害がある方などにも災害情報を！

スマホのアプリで「耳で聴くハザードマップ」が使えるようになります！

視覚障害がある方や文字が見えづらい高齢者の方向けに、「Uni-Voice Blind (ユニボイス ブラインド)」アプリを活用し、GPS を利用して現在地のハザードマップや避難ルート、気象情報等を音声で読み上げることができる「耳で聴くハザードマップ」を川崎市において導入します。スマートフォンを利用することにより、ハザードの確認や災害時の避難行動の円滑化を図ります。

1 導入の効果

視覚障害がある方や文字が見えづらい高齢者の方々に対して、自宅や学校、勤務先など、よく行く場所の災害リスク情報を事前に収集できるよう支援し、災害時の避難行動の円滑化を図ります。

2 主な搭載機能

スマートフォン等の GPS 機能と連携した現在地や周辺の災害リスク情報（洪水、高潮、土砂災害、津波）の読み上げ

3 導入時期等

(1)導入時期 令和 8 年 4 月 1 日（水）予定

(2)対象地域 川崎市内全域

4 利用方法

スマートフォン (iPhone,Android) にアプリをダウンロードし、初期設定を完了して利用できます。

(URL) <https://www.city.kawasaki.jp/601/page/0000185428.html>

5 利用料

無料（インストールや利用に伴う通信料は利用者の負担になります）

6 アプリについて

【アプリ名】 Uni-Voice Blind (ユニボイス ブラインド)

【アプリ概要】 視覚に障害がある人等を対象に、音声コードを読み取り、情報を音声で提供するスマートフォンアプリです。

【開発・運用】 Uni-Voice 事業企画株式会社（本社：東京都新宿区新小川町 1-14）

【企画・監修】 特定非営利活動法人 日本視覚障がい情報普及支援協会 (JAVIS)

画面のイメージ



↑川崎市ホームページ
「耳で聴くハザードマップについて」

【問合せ先】

川崎市危機管理本部危機管理部企画担当 茂木

電話 044-200-2478